

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 6 巻第 52 号

第 52 週 (12月25日 ~ 12月31日)

発行年月日:平成19年(2007年) 1月 9日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

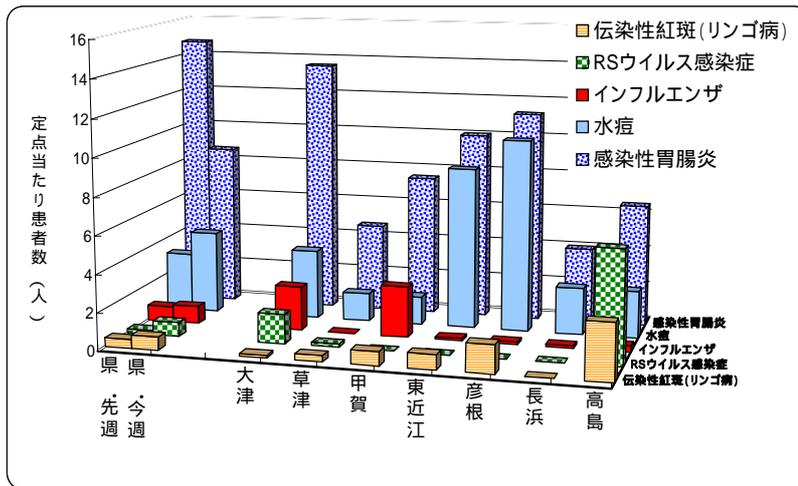
今週の感染症発生動向

感染性胃腸炎の発生は減少傾向持続
水痘およびRSウイルス感染症の発生は増加傾向
滋賀県における全数報告感染症の概要(平成18年第1~52週)

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週(12月18日~12月24日)の報告数よりさらに少なくなり、主に感染性胃腸炎で減少しています。増加した疾患は水痘、伝染性紅斑、RSウイルス感染症です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、流行発生警報が感染性胃腸炎、咽頭結膜熱、水痘および伝染性紅斑(リンゴ病)に発生しています。今週は全数把握対象疾患の届出はありませんでした。

上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第52週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、水痘、インフルエンザ、RSウイルス感染症、伝染性紅斑(リンゴ病)の順に多くなっています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者数は大部分の保健所管内で12.00以下となっていますが、引き続き感染予防に対する注意が必要です。また、水痘は東近江および彦根で非常に多くなっています。

滋賀県における全数報告感染症の概要(平成18年第1~52週)

感染症類型	疾患名	1~44週の累積報告数	45~52週の報告年月日	概 要		
				菌種、血清型等	推定感染地域	推定感染源(原因)・感染経路等
一類感染症	報告なし	0				
二類感染症	コレラ(疑似症)	1	報告なし			
	細菌性赤痢	6 ^(*)	報告なし			
(*)検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分2件を含む						
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	51	H18.11.13	血清型:O157 産性毒素型:VT2(+)	日本国内	不明
			H18.12.6	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)+VT2(+)	日本国内	経口感染
			H18.12.7	血清型:O26 産性毒素型:VT1(+)	日本国内	経口感染
			* VT1:ベロ毒素1型 VT2:ベロ毒素2型			
四類感染症	E型肝炎	1	H18.11.30		中華人民共和国	経口感染
	A型肝炎	21	報告なし			
	レジオネラ症	11	報告なし			
五類感染症	アメーバ赤痢	7	H18.11.24		日本国内	不明
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5	H18.12.11		日本国内	創傷感染(左下肢)
	後天性免疫不全症候群	8	報告なし			
	ジアルジア症	1	報告なし			
	梅毒	4	報告なし			
	破傷風	0	H18.12.6		日本国内	創傷感染(頭部裂傷)
	急性脳炎	1	報告なし			

警報・注意報発生状況

感染性胃腸炎の警報発生状況(第46～52週)

週	滋賀県		大津保健所		草津保健所		甲賀保健所		東近江保健所		彦根保健所		長浜保健所		高島保健所	
	定点当たり患者数															
46週	18.66		19.00		20.50		9.25		38.60		3.00		8.00		33.50	
47週	22.50		19.86		27.33		11.00		44.66		6.50		12.00		38.00	
48週	29.63		30.71		36.50		12.50		38.60		28.75		25.75		26.50	
49週	22.78		17.43		21.83		18.25		32.20		30.00		21.50		18.00	
50週	19.53		20.71		18.33		13.00		24.80		19.50		23.50		11.00	
51週	14.72		15.29		12.33		17.50		19.00		15.50		10.75		10.00	
52週	8.66		13.57		4.67		7.50		10.00		11.25		4.00		6.50	

：警報発生中 警報発生基準値：定点当たり患者数が20人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が12人以下になるまで継続して出されます。

水痘の警報・注意報発生状況(第48～52週)

週	滋賀県		大津保健所		草津保健所		甲賀保健所		東近江保健所		彦根保健所		長浜保健所		高島保健所	
	定点当たり患者数															
48週	2.34		2.00		1.00		0.75		3.40		7.25		1.50		0	
49週	2.47		1.43		0.17		1.00		6.80		5.50		1.50		1.00	
50週	3.66		1.00		0.83		1.75		9.80		6.75		4.25		2.50	
51週	3.13		1.14		0.33		2.00		10.20		3.75		2.50		3.00	
52週	4.38		3.71		1.50		1.50		8.60		10.25		2.50		2.50	

：警報発生中 注意報発生中 警報発生基準値：定点当たり患者数が7人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が4人以下になるまで継続して出されます。
注意報発生基準値：定点当たり患者数が4人以上という基準値を超えた時に出されます。

伝染性紅斑の警報発生状況(第49～52週)

週	滋賀県		大津保健所		草津保健所		甲賀保健所		東近江保健所		彦根保健所		長浜保健所		高島保健所	
	定点当たり患者数															
49週	0.75		0.29		0.67		0.25		0.60		2.75		0		1.50	
50週	0.47		0.29		0.33		0		0.20		2.25		0		0.50	
51週	0.47		0.14		0.17		0		0.80		0.75		0		3.00	
52週	0.69		0.14		0.33		0.75		0.80		1.50		0		3.00	

：警報発生中 警報発生基準値：定点当たり患者数が2人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が1人以下になるまで継続して出されます。

咽頭結膜熱の警報発生状況(第51～52週)

週	滋賀県		大津保健所		草津保健所		甲賀保健所		東近江保健所		彦根保健所		長浜保健所		高島保健所	
	定点当たり患者数															
51週	0.69		0.43		2.33		0		0.40		0		0.50		0.50	
52週	0.28		0.14		0.17		0		0.40		0		0.75		1.00	

：警報発生中 警報発生基準値：定点当たり患者数が2人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が0.1人以下になるまで継続して出されます。

<<感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム>>

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム(厚生労働科学研究事業)では過去5年間の患者発生状況をもとに疾患ごとに警報レベルおよび注意報レベルの基準値を設定しています。その基準値を超えた時に流行発生警報あるいは流行発生注意報という表現により流行状況の指標を示しているもので、都道府県として発令される「警報」、「注意報」とは異なります。

流行発生警報

流行発生警報という表現により大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

流行発生注意報

流行発生注意報という表現により今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性がある、または現在も流行が継続している可能性があるという情報を提供しています。

* 詳細については警報・注意報発生システムとは(国立感染症研究所感染症情報センター)参照
<http://idsc.nih.gov.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide06.html>

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (52週)	累積報告数		平成17年報告数	
			滋賀 (52週)	全国 (52週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	1	47	0	54
	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 6	483	^{(*)3} 7	556
三類感染症	腸チフス	0	0	72	0	50
	腸管出血性大腸菌感染症	0	54	3,910	12	3,567
四類感染症	E型肝炎	0	2	70	0	40
	A型肝炎	0	21	316	1	168
	オウム病	0	0	22	1	34
	デング熱	0	0	57	1	73
	マラリア	0	0	61	0	66
	レジオネラ症	0	11	508	3	276
五類感染症	アメーバ赤痢	0	8	738	5	680
	ウイルス性肝炎	0	0	275	2	277
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	177	2	147
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	6	107	0	60
	後天性免疫不全症候群	0	8	1,301	7	1,161
	ジアルジア症	0	1	87	0	81
	梅毒	0	4	625	0	555
	破傷風	0	1	115	0	114
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	79	2	65
	急性脳炎	0	1	160	2	180

*1:平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

*3:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分3件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第52週(12/25～12/31) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: デング熱 2例	五類感染症: クロイツフェルト・ヤコブ病 4例
二類感染症: 細菌性赤痢 6例	マラリア 1例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 3例
腸チフス 1例	つつが虫病 10例	後天性免疫不全症候群 11例
三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 26例	レジオネラ症 7例	ウイルス性肝炎 1例
四類感染症: E型肝炎 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 14例	急性脳炎 1例
A型肝炎 1例	ジアルジア症 2例	
	梅毒 4例	

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(第47～52週、11/20～12/31)

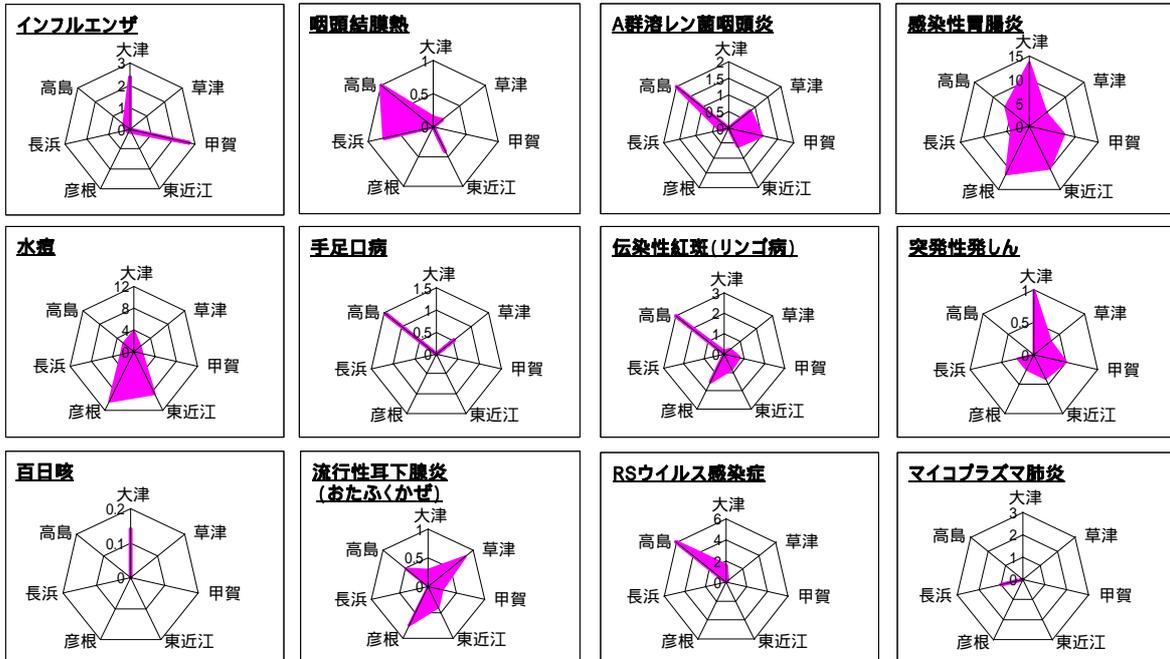
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加)					前週と同じ					前週より減少				
	47週	48週	49週	50週	51週	52週	週								
	(11/20～)	(11/27～)	(12/4～)	(12/11～)	(12/18～)	(12/25～)	48	49	50	51	52				
インフルエンザ	0.06	0.09	0.25	0.87	0.81	0.92									
RSウイルス感染症	0.03	0.03	0.09	0.22	0.22	0.75									
咽頭結膜熱	0.09	0.13	0.16	0.44	0.69	0.28									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.66	0.50	0.78	0.94	0.63	0.50									
感染性胃腸炎	22.50	29.63	22.78	19.53	14.72	8.66									
水痘	1.75	2.34	2.47	3.66	3.13	4.38									
手足口病	0.13	0.16	0.22	0.19	0.38	0.19									
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.22	0.28	0.75	0.47	0.47	0.69									
突発性発しん	0.38	0.31	0.53	0.41	0.41	0.47									
百日咳	0	0	0.03	0	0	0									
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0									
ヘルパンギーナ	0	0.03	0	0	0	0									
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0.00	0									
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.41	0.56	0.66	0.50	0.50	0.44									
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0									
流行性角結膜炎	0	0.43	0	0.29	0.14	0									
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0									
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0									
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0.71	0	0.14									
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0									
成人麻しん	0	0	0	0	0	0									

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第52週、12/25～12/31)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)	
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		
インフルエンザ	0.92	2.36	0	2.71	0.13	0.14	0.14	0.33		
RSウイルス感染症	0.75	1.57	0.17	0	0	0	0	6.00		
咽頭結膜熱	0.28	0.14	0.17	0	0.40	0	0.75	1.00		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0	0.83	1.00	0.60	0	0.25	2.00		
感染性胃腸炎	8.66	13.57	4.67	7.50	10.00	11.25	4.00	6.50		
水痘	4.38	3.71	1.50	1.50	8.60	10.25	2.50	2.50		
手足口病	0.19	0	0.50	0	0	0	0	1.50		
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.69	0.14	0.33	0.75	0.80	1.50	0	3.00		
突発性発しん	0.47	1.00	0.33	0.50	0.40	0.25	0.25	0		
百日咳	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0		
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0		
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.44	0.29	0.83	0.25	0.40	0.75	0	0.50		
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0		
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0		
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0		

■ は定点当たり患者数が先週より増加、
■ は定点当たり患者数が非常に多い状態
0 5 10
定点当たり患者数(人)

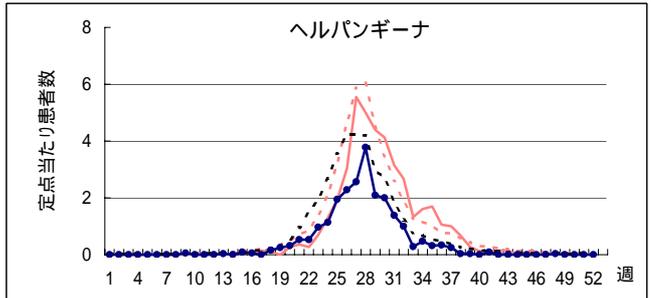
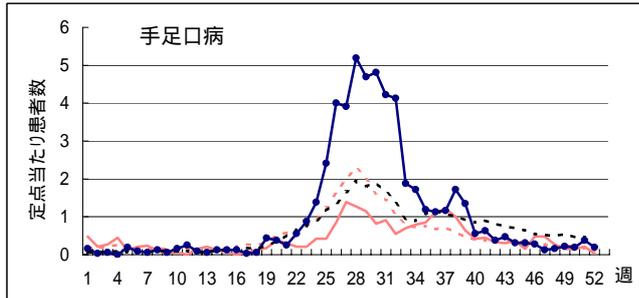
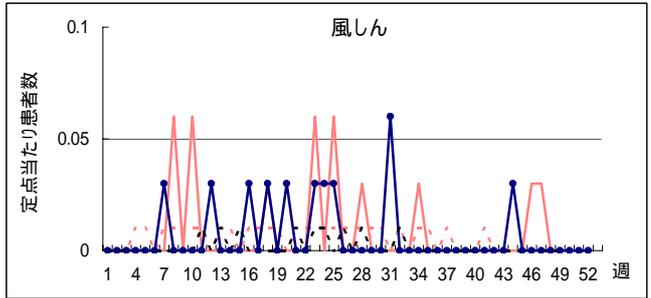
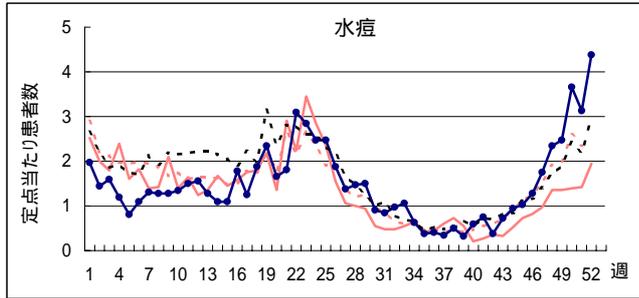
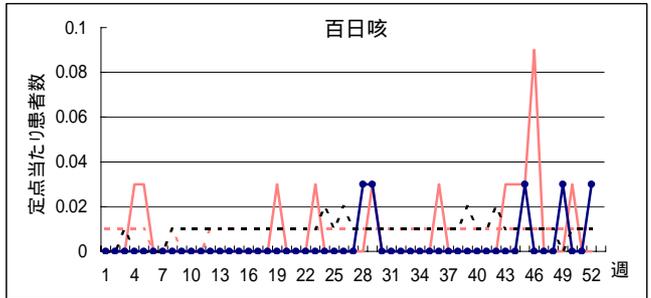
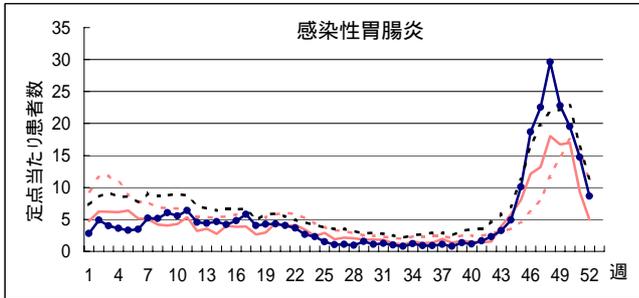
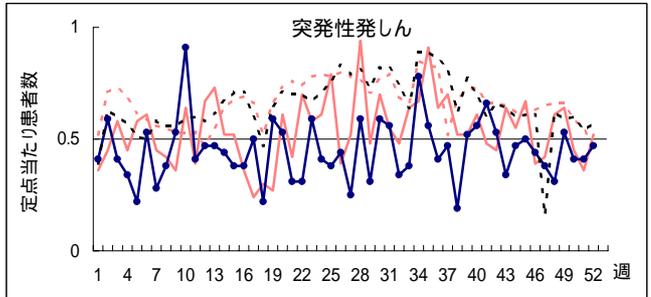
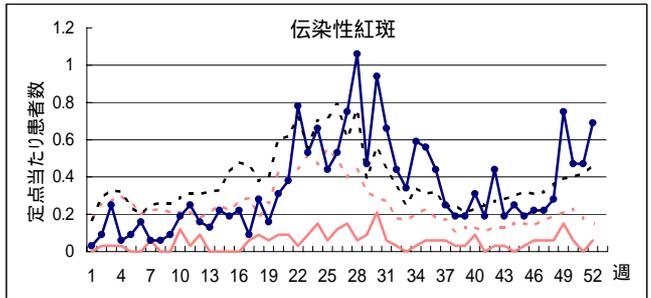
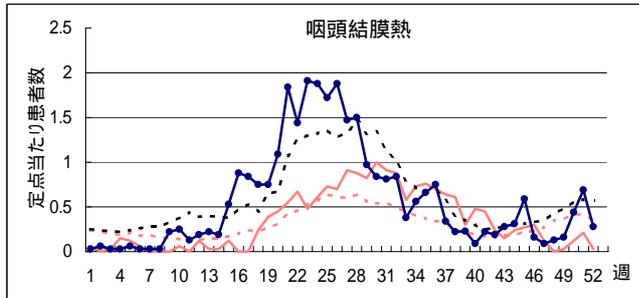
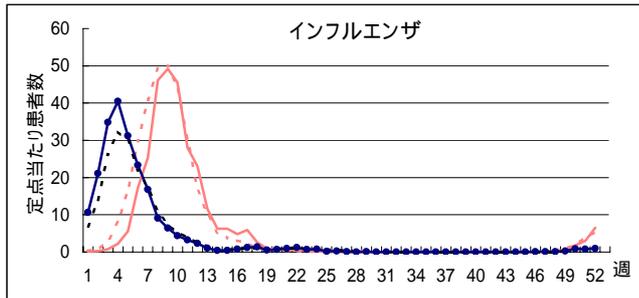
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：保健所管内別定点当たり患者数

- インフルエンザ-----大津では先週と同じですが、甲賀で先週よりかなり多くなっています。
- 咽頭結膜熱-----先週多かった草津でかなり減少しています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎---- 県全体では先週より減少していますが、甲賀、長浜および高島で先週よりやや多くなっています。
- 感染性胃腸炎-----全ての保健所管内で先週より減少していますが、大津、東近江および彦根では多い状態が続いています。
- 水痘-----大津、草津および彦根で先週より増加しています。特に東近江および彦根で非常に多くなっており流行発生警報が発生しています。
- 手足口病-----草津および高島から報告されていますが先週より少なくなっています。
- 伝染性紅斑-----高島では先週に引き続き流行発生警報が発生しています。また、彦根でもやや多くなっています。
- 突発性発しん-----大津で先週よりやや多くなっています。
- 百日咳-----大津から報告されています。
- 流行性耳下腺炎-----各保健所管内とも先週とほぼ同様の発生状況です。
- RSウイルス感染症-----草津および高島から報告されています。

疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第52週、H18.1.2～H18.12.31)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第52週、H18.1.2～H18.12.31)

H17 { 滋賀 ————
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●
全国

